



非核・平和への願いを形に表そう

—ヒロシマ・ナガサキに思いを寄せて黙祷・献花を—

戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に
平和のとりでを築かなければならない。(ユネスコ憲章前文)

「戦争の足音が聞こえる」いやな世の中になりました。ロシアのウクライナ侵攻以来、「敵基地攻撃能力」とか「核の共有」とか、日本が戦争をする準備をしていくような主張が見られます。こちらが攻撃すれば、相手もやり返すのは当たり前で、真珠湾攻撃の結果敗戦までの歴史を考えれば、一見勇ましくもっともらしく思われる言動がどれほど危険なものかわかります。核兵器が使用されることがあったら、どれほどの悲惨な被害が長く続くことかということに深く思いを致し、唯一の戦争被爆国として「核兵器禁止条約」への調印・批准を求めて声をあげていしましょう。今年も、非核・平和を訴える行動をしようと思います。

一緒に黙祷・献花をしましょう。

☆8月6日(日): 8時15分黙祷(8時集合)

※ 献花

鎌ヶ谷市役所うら総合福祉保健センター入口
～被爆した広島市庁舎敷石・信用金庫敷石前で～



☆8月9日(水): 11時2分黙祷(10時50分集合)

※ 献花

鎌ヶ谷市役所玄関前
～非核平和祈念モニュメント“かたぐるま”前で～



非核・平和を祈念する市民の集い

実行委員会:	渡邊俊彦	443-4650
	小中武志	荒木忠直
	加藤勝久	吉濱詩子
	河内夏美	

後援:鎌ヶ谷市